



さとやま

今月の見どころ

においで知る春



3月、日に日に暖くなる里を歩くと、変わったにおいに気がつきます。人によっては、漬物のようなだとか、ラーメンのスープのようなだとか、中には汗や都市ガスのようなにおいだという人もいます。辺りを見回すと、枝にびっしりと白～ピンク色の小さな花をつけたヒサカキを見つけることができます。

ヒサカキは、サカキに似ていて、小さいので「姫榊」とか、サカキではないので「非榊」と呼ばれたことから名が付いたと言われていています。雌雄異株で、雄株には雌しべが退化した雄花、雌株には雄しべが退化した雌花がつきます。なかには、雄しべと雌しべが両方ついた花をつける株も見つけることができます。

足元には、色々な種類のスミレが姿を現します。中でもいち早く花をつけるニオイタチツボスミレは、芳香を放つことから名がつけました。鼻を近づけてみて下さい。

この時期顔を出すフキノトウはフキの花芽ですが、天ぷらなどにして食べると独特な香りがします。

視覚だけではなく、嗅覚から感じる春もあるのです。柔らかな日差しの中、そんなにおいの春を探して里を散策してみませんか。



ニオイタチツボスミレ



フキノトウ

サブゾーンでは

長円寺には、春を告げる珍しい花が見られます。

愛知県の県木ハナノキは、絶滅を危惧されている植物で、万灯山山頂付近のロータリにも植えられています。

オガタマノキは、天照大神が天岩戸に隠れたとき、天鈿女命が手にして舞ったと言われる植物で、古来から神聖視されています。

ぜひサブゾーンにも足を運んでみて下さい。



2月の行事紹介



3回の「竹炭焼き」講座のうち、初回を2月22日(土)、神本晃氏と河野俊治氏を講師に招き、開催しました。

当日は、いつ雨が降るかわからない天候のため、竹切りを翌日にして、前もって準備した竹を使い、金型の竹割器で竹を割り、ナタで節を取り成形して窯に入れました。

講師から竹の性質を聞き、上に伸びる竹は上から割れば“ささくれ”ができ難いことを知りました。

3月の行事予定

・流木で作ろう ～海から届いたもの～ 3月15日(日) 午前9:30 ～ 11:30

4月の行事予定

・春が旬“タケノコ”掘りⅠ **注1** 4月5日(日) 午前9:30 ～ 11:30

・春が旬“タケノコ”掘りⅡ **注1** 4月12日(日) 午前9:30 ～ 11:30

・万灯山へ妖精の足跡を探しに行こう 4月19日(日) 午前9:30 ～ 15:00

注1 ～ タケノコ掘りⅠ&Ⅱの受付は、3月22日から受付を開始し、両日への参加はできません。

★参加受付は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順で来園・電話にて受付します。

また、お申込みは本人、もしくはそのご家族までとします。

★天候や少数(6名以下/1講座)などによる「講座の中止・延期」、又は「講座内容の変更」をする場合があります。

★原則、参加費は無料ですが材料費などは実費を申し受けます。

西尾いきものふれあいの里

ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

休日 毎週月曜日及び祝日の翌日 発行 西尾市環境部環境保全課